

学生の「小学校授業観察」から見える 「幼保小連携」についての一考察

A Study of Preschool-Elementary School Cooperation from the Elementary
School Class Observation of Junior College Students

森 成 美

Narumi Mori

はじめに

「小学校との円滑な接続に配慮」が、平成25年2月に発行された『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』の序章「策定に当たっての基本的な考え方」の②に示されている。¹⁾ 平成20年10月に発行された『幼稚園教育要領解説』では、「小学校との円滑な接続に配慮」は「特に留意すべき事項」のひとつとして取り上げられているにすぎない。しかし、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』では、序章第1節の2「策定に当たっての基本的な考え方」として扱われている。このことから、文部科学省・厚生労働省とも「小学校との円滑な接続に配慮」を教育・保育要領の重要な柱としていることが分かる。本学学生は、大多数が幼稚園教諭二種免許・保育士免許取得をめざしている。「小学校との円滑な接続に配慮」を意識した「幼保小連携の力」を育てる必要があると考える。また、本学の過去の研究紀要に当たったが、「小学校との円滑な接続に配慮」や「幼保小の連携」に関する先行研究はない。そこで、映像による小学校授業の観察を通して、学生が「幼保小連携」をどのように考えているかを見ていくことにした。そして、「小学校へ送るために就学前教育としてどんな配慮が必要か」についても調査し、「子どもにとって円滑な幼保小の接続とは何か」を考察することを本稿の目的とする。

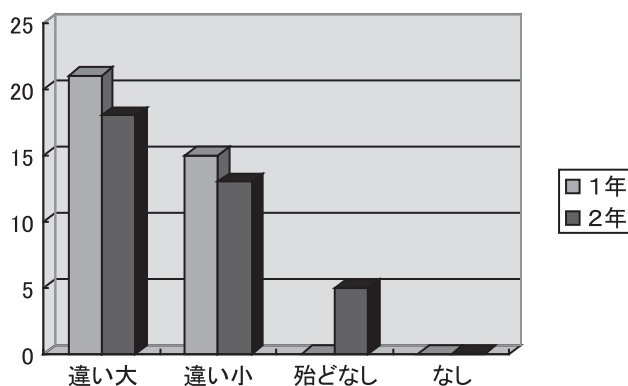
1 学生へのアンケート調査と結果

『幼稚園教育要領解説 5 小学校との連携』では、「幼稚園と小学校では、子どもの生活や教育方法が異なる。このような生活の変化に子どもが対応できるようになっていくことも学びの一つとしてとらえ、教師は適切な指導を行うことが必要である。」と示されている。²⁾

そこで、本学学生に小学1年生（18名）の国語科授業映像を10分間見せ、次のようなアンケートを1年生（36名）・2年生（36名）に実施した。実施日は平成27年9月30日である。1年生と2年生に分けてアンケート集計したのは、学びの深度による違いが見えるかもしれないと考えたからである。

- 1 小学校1年生の授業風景です。
実習等で見た幼稚園や保育所、認定こども園と比べてみてください。
そして、どのように感じるか教えてください。
 - a 小学校と幼稚園や保育所や認定こども園は大きな違いがある
 - b 小学校と幼稚園や保育所や認定こども園は少し違いがある
 - c 小学校と幼稚園や保育所や認定こども園は違いが殆どない
 - d 小学校と幼稚園や保育所や認定こども園は違いがない
- 2 1でa・bと答えた人は、どんなところが違いますか。
具体的に3つ以上違いを書いてください。
- 3 1でc・dと答えた人は、どんなところが同じですか。
具体的に3つ以上似ているところを書いてください。
- 4 あなたが5歳児を担当したら、小学校へ入学することもたちに、どんなことを指導しますか。
具体的に3つ以上書いてください。

アンケートの1の結果を棒グラフにした。(調査人員1年36名・2年36名 縦軸人数)



1年生は全員違いがあると答え、2年生は86%が違いがあると答えている。

では、アンケート2の「違いが大きい」または、「少し違いがある」と答えた学生には、どんなところが違うか答えてもらった。自由記述なので、よく似たものは省いた。結果は次の通りである。

(1) 1年…小学校と幼稚園や保育所や認定こども園の違いがあると答えた理由

- ・子どもたちにまとまりがある。
- ・小学校では教科書を使って教育されている。
- ・黒板を使い授業を進めている。
- ・自分の意見は理由を含めて友だちに伝えるようにしている。
- ・愛称ではなく、〇〇さんと呼んでいる。

- ・手を挙げないと発言の権利が与えられない。
- ・時間割がみんなに見える所に貼ってある。
- ・教科書やノートを使って授業している。
- ・小学校では学ぶ内容が教科毎に分けられているが、幼稚園は生活の中で学んでいく。
- ・小学校では教科書があり、先生がいて授業を教える。幼稚園等では保育者の姿を見て、吸収して学んでいく。
- ・小学校では集団で行動し、同じように過ごす。幼稚園等では一人一人に合わせた援助を行う。
- ・全員が座り、話し手の方を見ている。
- ・全員で同じ話題について考えている。
- ・「です」「ます」と丁寧語で発表している。
- ・子どもは椅子に座って、先生一人対多人数で向き合っている。
- ・幼稚園等では遊びながら学んでいるが、小学校は座学である。
- ・小学校では先生がスーツを着ている。教育しているという姿勢が明確である。幼稚園、保育園ではラフな服装である。
- ・教室には幼稚園よりも児童が多い。
- ・幼稚園では手を挙げずに好きなタイミングでバラバラに話すが、小学校では指名されたら立って自分の意見を言う。
- ・幼稚園では自分の興味があるものを見に行ったり話し出してしまったりするが、授業では、静かに発表している人の話を聞いている。
- ・意見を言うときに、結論や理由をはっきり述べているが、幼稚園・保育園児は話を組み立てる機能は発達していないので難しい。

(2) 2年…小学校と幼稚園や保育所や認定こども園では違いがあると応えた理由

- ・人が話しているときは相槌を打ち、黙って聞いている。
- ・立ち歩かない。
- ・手を挙げて発言し、発表の場が多くある。
- ・全員が教師の方を見て座り、自分が発表するときは皆が見える位置に立ち、聞く方が身体の向きをкаえて聞いている。
- ・小学校以前の子どもは自分の意見はあまり明確に言えないが、この授業を受けている子ども達は自分の意見プラス理由を言っている。
- ・幼稚園、保育所、こども園の子ども達は発達のスピードに応じてゆっくり保育されるが、小学校では教員のスピード（決められた時間）で授業が進められている。
- ・先生中心で進むので、授業についていくのが難しい子もいるのではないかな。集中しにくい子には

- 手を貸して集中できるようにしているが。
- ・幼稚園等に比べて、言葉で上手に伝えられるようになっている。
 - ・先生は板書している。
 - ・机の上には筆記用具やノートが置いてある。
 - ・「僕は～だから、～だと思います」と語尾まではっきり話している。
 - ・先生の指示をすぐ理解し動いている。
 - ・子ども一人一人が考えて発表している。
 - ・進むのが早い。
 - ・敬語で先生も子どもも話している。
 - ・静かに授業を受けている。
 - ・課題に対して考える力がついている。
 - ・段落という用語を使っている。
 - ・教育しているという印象。
 - ・教師が一人しかいない。
 - ・発表する時に「です」「ます」の口調で話す。
 - ・一人一人に机がある。
 - ・先生が一人で多人数を見ている。
 - ・座学である。
 - ・「私は」と主語を意識して話している。
 - ・教師は子どもの名前を呼ぶときは「～さん」と苗字で呼んでいる。
 - ・自分の意見を簡潔にまとめて発表している。
 - ・発言者の話を静かに聞いている。
 - ・小学校には一人一人に机や椅子があるが、保育所やこども園には椅子しかない。
 - ・遊びではなく勉強する環境である。
 - ・学習テーマが決まっている。
 - ・教科書に沿った学びである。

(3) 2年…違いは殆どないと応えた理由

- ・教室の壁等に子ども達の作品が飾られている。
- ・幼稚園でも一人ずつ挙手して教師が子どもを指名して発表させている。
- ・発表者を見てしっかり聞こうとするところは同じだ。
- ・子どもの声を拾って活動が進むところ。
- ・一つの課題に対して自分の考えを言い、皆で共通意識を持てるようにするところは同じ。

- ・教科書か絵本かの違いで、読んでいることには変わりはない。
- ・教師や保育士が教え育てるところは同じ。
- ・子どもの気持ちや考えをくみ取り受け止めるところは同じ。
- ・子ども主体であるところ。
- ・一人一人の様子を把握して、必要に応じて言葉がけをするところは同じ。
- ・先生が子どもの活動を盛り上げようとするところ。

1年生と2年生の記述内容に大きな違いはないが、2年生は児童の姿の観察が鋭くなっている。子どもに寄り添っているか、授業の進度が早すぎないかを等を記述している。大学での学びが身についてきたからではないかと考えられる。

(4) 5歳児を担当したら、小学校へ入学する子ども達にどんなことを指導するか

2年生の記述

1年生の記述

(生活習慣) ・トイレに決まった時間に行けるようにする。 ・座る姿勢を意識できること。 ・始まりと終わりのけじめ。	・身の回りの整理整頓ができるようにする。 ・正しいお箸の持ち方や鉛筆の持ち方。 ・生活のリズムを作る。
(人間関係力) ・我慢する。 ・クラスみんなで声をそろえたり、一つのことを成し遂げたりする。 ・友だちを思いやる気持ちを持つ。 ・友だちとの関わり方。 ・自己主張ができること。 ・自己表現ができるようにすること。 ・自分で物事を判断する力をつけること。	・時と場合に応じて行動できるけじめをつける。 ・じっと我慢できるようにする。 ・嫌なことでも頑張ること。 ・長時間耐えられる訓練。(長い話を聞くこと、待つことが苦にならないこと) ・みんなと仲良く楽しく小学校生活を送るように、仲間はずれをしないようにすること。
(コミュニケーション力) ・人の話を立ち歩いたりせずに黙って聞く。 ・集中して話が聞けるように、指導者が絵本を読みこどもは聞くというようにする。 ・話すとき、聞くときのメリハリをつける。 ・人の話は目を見て耳を傾けて聞くことを指導したり、目線で知らせたりして雰囲気をつくること。	・保育者は子どもへの問いかけに話し合いの時間を与え、「待つ」こと。 ・話を聞くこと ・人の話を聞くことが苦にならないように指導すること ・保育者は子どもが自分の意見が言えるように

・自分の思いや考えを人に伝えること。 ・言葉遣いを「です」「ます」調で話す場を作ること。 ・人前で意見が言えるように、友だちの前でも発表する機会を作ること。 ・先生の話だけではなく友だちの話も聞くこと。 ・人の意見を受け入れる気持ちを持つこと。	・するために、子どもの意見を尊重する。 ・自分の意見が言えるようにする。 ・出会った人に自分から挨拶し、「ありがとう」「ごめんさい」が言えるようにする。 ・間違えてもいいこと。 ・自分の思ったことや感じたことを大きな声で話すこと。
(時間意識) ・時間内の行動	・時間を守ること
(創造力・思考力) ・文字に慣れさせる。 ・たくさんの自然に関わるようにして、感性が豊かなになるよう配慮する。 ・小学校での生活を楽しいと感じられるようにする。	・好奇心をなくさせないこと。 ・文字が読めるようにする。 ・遊びの中で数や文字に興味を持てるようにする。
(その他) ・集団行動の基礎 ・小学校の行事への参加。 ・1年生の授業を見に行ったり、一緒に給食を食べたりする。	・1年生との交流会を行う。 ・小学校の入学が楽しくなるように交流の場を作る。 ・徒歩通学のための安全指導。

2年生の記述には、広い視野で教育活動を捉え、小学校との交流の在り方や子どもに寄り添った習慣作りが考えられている。

2 「こどもにとって円滑な幼保小の接続」となるには教育課程の編成が大切

「5歳児を担任したら、小学校へ入学する子ども達にどんなことを指導するか」という項目の自由記述でも分かるように、「小学校との接続を園の教育活動にどう組み入れるか」という観点は弱いように思われる。これは、本学の学生だけの傾向ではなく、教育現場の実態もこの傾向があるのではないだろうか。幼保小の連携として、合同運動会や合同発表会、給食会や1日入学等はどの地域でも行われている。しかし、就学前教育と小学校教育の教育活動のベースになる教育課程の摺り合わせや接続が行われることはまだまだ少ないようである。

兵庫県内のある小学校に聞くと、

- ・5年生と年長園児とが年間3回(学期に1度ずつ)交流会
- ・園小合同の運動会

- ・学習発表会ではプログラムの中の1つに幼稚園も出演
- ・PTA講演会は年に1度、小学校主催分に園の保護者も参加
- ・3学期に年長園児の体験入学
- ・3学期から年長園児は小学生の登校班と登園
を行っている」と回答があった。

イベント的な交流だけでなく、教育課程の摺り合わせや接続が「子どもにとってのなめらかな接続」になるのではないかと考える。私は次の3つが大切だと考えている。

○小学校の一時間の授業（45分）に慣れていくための幼稚園・保育所・認定こども園の教育課程の編成

○個別の活動だけでなく、集団活動を意識した学びを増やした教育課程の編成

○小学校1・2年生の教科学習につながる教育課程の接続の工夫

小学1年生で45分授業が5校時（3時頃）までである。就学前教育では、3学期には45分を指導者が意識しながら教育活動を進めていくことが必要であろう。また、集団での「協同的学び」が小学校では多くなる。園児一人一人への個別の言葉かけだけでなく、全員への一斉指示で活動できるような配慮も必要であろう。

また、就学前教育と小学校教育に携わる教員が、「遊びながら学ぶ」過程を「教科の学び」にゆるやかに転化していく教育課程を編成していくことも求められる。「環境」から「生活科」へ学びを移行していくところは、各教科にも応用できるであろう。このことが、就学前教育の「遊びからの学び」から小学校教育の「アクティブな学び」へとなめらかに接続されるであろう。大学でも教育課程を編成する力をつけていくことが、益々求められるであろう。

引用文献

- 1)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』の序章

「策定に当たっての基本的な考え方」4 内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル館

- 2)『幼稚園教育要領解説』「5 小学校との連携」230 文部科学省 フレーベル館

参考文献

- ・『保幼小連携接続カリキュラム』 27-28 平成24年12月 佐世保市子ども未来部 幼児教育センター 発行

